指導者のための情報紙
URL» http://www.saitama-sports.or.jp/junior_club/
スポーツともだち仲間たち No.51
発行：公益財団法人埼玉県スポーツ協会 埼玉県スポーツ少年団　〒362-0031 上尾市東町 3-1679　スポーツ総合センター

回覧 指導者・母集団

この情報紙は各単位団へ３部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。

# 令和元年度代議員会、本部員会報告

【代議員会】

令和元年度埼玉県スポーツ少年団代議員会が５月18日(土)、スポーツ総合センター講堂において開催されました。

平成30年度事業報告並びに決算についてと平成31年度(2019年度)事業計画並びに予算については、事務局報告のとおり承認されました。

なお、新年度事業のうち、第46回日独スポーツ少年団同時交流事業及び、リーダー養成･研修事業(シニア･リーダースクール派遣)の２事業について、本年度は募集定員を超えたため県内での選考会を実施すること、また、ジュニアリーダースクールの実施日数を３泊４日から２泊３日に変更になったことも、併せて報告されました。

代議委員会終了後、日本スポーツ少年団による「今後のスポーツ少年団指導者に係る説明会」が開催されました。このスポーツ少年団指導者制度の改定は、６月に開催された、日本スポーツ少年団委員総会で承認され、来年度から実施されることが決定されています。なお、当日の説明会で使用された資料及びＱ＆Ａは、日本スポーツ少年団のホームページの「スポーツ少年団関連資料」→「各種様式のダウンロード」に掲載されておりますのでぜひご活用ください。

【第１回本部員会】

５月18日(土)、令和元年度第１回埼玉県スポーツ少年団本部員会がスポーツ総合センター３階研修室において開催されました。

代議員会でも報告された平成30年度事業報告並びに決算について、第46回日独スポーツ少年団同時交流(派遣候補者第１次選考の結果６名が内定)について確認した後、専門委員会(３委員会及び指導者協議会)から活動状況と今後の取り組み等についての報告がありました。

その後、「令和元年度種目別運営費配分について」、「日本スポーツ少年団顕彰について」、「専門委員会取り組み内容の追加について」、「東日本大震災復興祈念事業について(８月９日～11日・スポーツ総合センター)」など５件の協議事項については、慎重審議の結果すべて原案の通り承認されました。

【第２回本部員会】

７月６日(土)、第２回埼玉県スポーツ少年団本部員会が開催されました。

報告事項の第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会について、東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業について、2020年日独スポーツ少年団ユースキャンプについて(日本本部から協力依頼・開催日：2020年７月23日～８月６日、会場：スポーツ総合センター)を確認した後、専門委員会報告が行われました。

令和元年度埼玉県スポーツ少年団表彰について(表彰式12月７日・上尾市)、令和元年度埼玉県スポーツ少年団ブロック本部長会議について(東部･越谷市､西部･鶴ヶ島市、南部・和光市、北部・皆野町)、「スポーツ少年団活動の今後の在り方について」(詳細は、５ページに掲載)など３件の協議事項につきましては、慎重審議の結果、全案原案のとおり承認されました。

また、各単位団におかれましては、今回の本部員会で承認されました「スポーツ少年団活動の今後の在り方について」を全関係者に配布のうえ、スポーツ少年団活動の「本来の目的」を再確認し、望ましい団活動の展開を図っていただきたいと考えております。

スポーツくじ toto BIG
本紙はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

# スポーツ少年団指導者に関わる制度等の改定について

平成 29 年度第４回日本スポーツ少年団常任委員会ならびに第２回日本スポーツ少年団委員総会において「スポーツ少年団は、スポーツ少年団有資格指導者を日本体育協会（当時）公認スポーツ指導者制度で養成する」、「スポーツ少年団では、日本体育協会（当時）公認スポーツ指導者制度の改定により新設されるスタートコーチを養成する」ことを決定いたしました。これは単なるテキストの内容のアップデート、カリキュラムの変更に留まるものではなく、「スポーツ少年団の指導者が学び続ける環境を整えること」、「スポーツ少年団指導者が全員有資格者となること」、「その有資格指導者とは日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の下で養成された指導者であること」を意味します。そして、スポーツならびにスポーツ少年団を取り巻く環境が大きく変わる中で、また「スポーツ基本計画」あるいは「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」等の国の施策にスポーツ少年団の名称が明記され、期待が高まっている中で、スポーツ少年団がそれらに積極的に対応していく姿勢を示すものです。

こうした社会環境の変化と社会からの期待への対応は、平成 21 年に発表した「スポーツ少年団の将来像」において示された方向性と一致するものであり、これからのスポーツ少年団は既存のスポーツ少年団の枠組みを超えて、より社会的な使命を果たす存在、まさに「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」存在になることが期待されています。

このようなスポーツ少年団で指導をすることは即ち社会的な役割を果たすものであり、スポーツ少年団内でのみ通用する資格ではなく、広くスポーツ界で通用する公認スポーツ指導者資格を保有することが望まれます。そして、単に資格を取得するだけではなく、常に団員等の指導対象のために、スポーツの楽しさを伝えられる指導者として学び続けることが必要となります。

日本スポーツ協会はスポーツを「自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化」と定義しております。自発的にスポーツを選んでくれた子どもたちに対する指導者としての責任を果たすためには、スポーツ少年団指導者は全員、公認スポーツ指導者資格保有者であることは不可欠であると考えます。

この度のスポーツ少年団指導者の在り方の大きな変化は、子どもたちのスポーツとの出会いの場を担う指導者として必要なものが何かについて議論を重ねた結果であることをご理解いただきますようお願いいたします。

引用：日本スポーツ少年団
「今後のスポーツ少年団指導者に関わる制度等の改定について」

## １．2020年度以降の認定育成員・認定員の位置付け

**⑴認定育成員・認定員が保有するJSPO公認スポーツ指導者資格（前提）**

・認定育成員：JSPO公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーを除く）
・認定員：JSPO公認スポーツリーダーまたはその他のJSPO公認スポーツ指導者資格

【解説】

①前提として、認定育成員のかたは、原則、JSPO公認スポーツ指導者資格を保有している。認定員の方もJSPO公認スポーツリーダーを保有している。

②認定員は、場合によってはJSPO公認スポーツリーダーだけでなく、他のJSPO公認スポーツ指導者資格を保有している。

③2020年度以降は、認定育成員および認定員の資格は無くなるため、お持ちのJSPO公認スポーツ指導者資格をもって、資格保有者として活動する。

④JSPO公認スポーツリーダーは、資格更新のための更新研修の終了やJSPOへの指導者登録手続きを必要としない永年資格である。

**※2020年度移行も「指導者」としてスポーツ少年団登録する場合は、新設される登録・更新制の「JSPO公認新スポーツリーダー（仮称）」へ移行する**

**⑵2023年度までの移行期間の措置**

現行制度における「JSPO公認スポーツリーダー」保有者は、移行期間の措置として、2023年度のスポーツ少年団登録まで、「指導者」としてスポーツ少年団登録ができることとします。なお、2024年度以降も継続して「指導者」としてスポーツ少年団に登録し、活動される場合には、2020年度から2023年度までの４年の間に「JSPO公認新スポーツリーダー（仮称）」に資格を移行することが必要となります。

※「JSPO公認新スポーツリーダー（仮称）」への資格移行は、移行講習会等を受講する必要はなく、所定の手続きを行うことで完了します。その際は、他の公認スポーツ指導者資格と同様に、資格登録料（10,000円／４年）に加え、初期登録手数料として3,000円を別途納入することとなります。

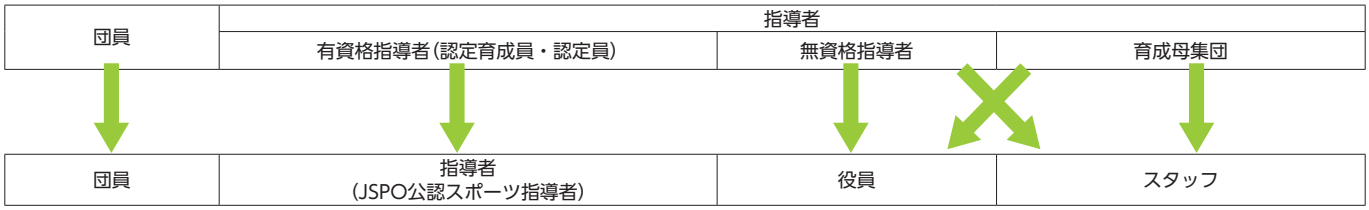
### (3)2020年度以降のスポーツ少年団認定育成員・認定員の位置付け

| ～2019年度 | 2020年度～2023年度〈移行期間〉 | 2024年度～ |
|---|---|---|
| 認定育成員+JSPO公認スポーツ指導者資格 | （インストラクター）+JSPO公認スポーツ指導者資格 | （インストラクター）+JSPO公認スポーツ指導者資格 |
| 認定員+JSPO公認スポーツ指導者資格<br>（スポーツリーダーを除く） | JSPO公認スポーツ指導者資格 | JSPO公認スポーツ指導者資格 |
| 認定員+JSPO公認スポーツリーダー | JSPO公認スポーツリーダー | JSPO公認新スポーツリーダー（仮称）<br>※登録料：10,000円/４年<br>初期登録手数料：3,000円 |

## ２．スポーツ少年団登録

### (1)スポーツ少年団登録区分

【従来（2019年度まで）のスポーツ少年団登録区分】




【2020年度以降のスポーツ少年団登録区分】

### (2)単位団がスポーツ少年団登録をする際の条件（2020年以降）

原則として団員10名以上、指導者２名以上で構成し、以下の２つの条件を満たすことが必要。

①20歳以上の「指導者」、「役員」または「スタッフ」の２名以上の登録が必要。

子どもを預かることの責任（単位団の社会的責任）から成人（20歳以上）の複数名配置を必須とします。

※2020年以降は18歳から指導者登録ができます。

※ 未成年の「指導者」２名だけでは登録できません。

②２名以上の指導者が「スポーツ少年団の理念」を学んでいる〔2019年度スポーツ少年団認定育成員、認定員登録者またはスタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者〕ことが必要。

「スポーツ少年団の理念」の普及、「理念」に沿った単位団活動を行うために、「理念」を学んだ指導者の複数名配置を必須とします。

※理念を学んだ指導者＝2019年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員としてスポーツ少年団登録をしている公認スポーツ指導者資格保有者、または2020年度から新規養成するスタートコーチ（スポーツ少年団）

**注意：過去、資格（認定育成員・認定員）を保有していた、または受講した方々でも、本年度、スポーツ少年団へ指導者登録をしていないと、理念を学んだ指導者とはなりませんので、ご注意下さい。**

## ３．スタートコーチ（スポーツ少年団）の養成

### (1)JSPO公認スポーツ指導者制度におけるスタートコーチの位置付け

【スタートコーチ概要】

| | |
|---|---|
| ・役　　割 | スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、学校運動部活動等でのコーチングアシスタント（指導補助）。上位資格者と協力して、安全で効果的な活動を提供する。 |
| ・受講対象 | 受講年度の４月１日現在、満18歳以上の者。 |
| ・学習時間数 | 自宅学習が８時間以上、集合講習が７時間以上の計15時間以上。<br>集合講習７時間以上の内訳は、共通科目が３時間、専門科目が４時間以上とし、資格養成団体が、共通科目および専門科目の集合講習会を実施する。 |

※スタートコーチ（スポーツ少年団）は、「競技別資格」の位置付けではあるが、競技志向の指導をするための資格ではない。

スポーツ少年団を競技団体等の資格養成団体と同等とみなして養成するため「競技別資格」となる。

### (2)スタートコーチ（スポーツ少年団）養成カリキュラム〔専門科目〕

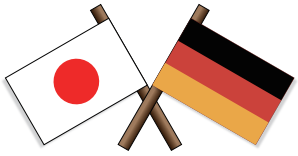
| 1. スポーツ少年団の理念と意義 | 2. ジュニア期のスポーツ指導 | 3. 安全・安心なスポーツ環境の整備 |
|---|---|---|
| (1)スポーツ少年団の理念・意義<br>(2)日本スポーツ少年団指導者綱領・団員綱領 | (1)発育・発達に合わせた指導<br>(2)幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）<br>(3)運動適性テスト | (1)リスク管理<br>(2)反倫理的行為の根絶 |

※ 幼児期からのACP及び運動適性テストは座学として実施し、単位団活動において幼児期からのACP、運動適性テストを取り入れる意義等を学習する。

本記事は、日本スポーツ少年団「今後のスポーツ少年団指導者について」から抜粋したものです。

詳しい資料については、日本スポーツ協会ホームページに掲載してありますので、ご確認下さい。

資料掲載ページ：https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid949.html



# 第46回日独スポーツ少年団同時交流

日独スポーツ少年団同時交流とは、国際経験豊かな指導者を育成するため、日本とドイツの両国の団員が互いに相手国を訪問し、グループに分かれて各地でホームステイをするとともに、スポーツ交流や視察研修等のプログラムを実施する交流事業です。1974年の第１回以来毎年実施しており、今年で46回目となります。今回は久喜市スポーツ少年団が２回目の受入事業を引き受けてくださいました。

## ≪派遣事業≫

＊派遣先：関東Ⅱグループ派遣地／ドイツ連邦共和国　ヘッセン州

＊派遣期間：2019年７月31日（水）～８月17日（土）　16泊18日

＊派遣団員

○荒井美月（女・20歳）　総合型地域スポーツクラブＢＡＧＵＳスポーツ少年団（川口市）

○中澤彩恵（女・16歳）　所沢育成ＪＶＣスポーツ少年団（所沢市）

○長峰志乃（女・18歳）　吉見武道館剣道スポーツ少年団（吉見町）

○宮前伽帆（女・18歳）　三光グリーンシスターズスポーツ少年団（白岡市）

○塚本和樹（男・19歳）　峰心会上尾空手道スポーツ少年団（上尾市）

○竹内彩恵（女・20歳）　総合型地域スポーツクラブＢＡＧＵＳスポーツ少年団（川口市）

▲　昨年、吉見町での受入事業（紙透体験）

▲　昨年、吉見町で行われた対面式

## ≪受入事業≫

＊受入本部：久喜市スポーツ少年団

＊受入期間：2019年７月25日（木）～８月１日（木）　７泊８日

＊ドイツ団：メクレンブルク＝フォアポンメルン州

＊指導者／Ｌａｍｐｅ　Ｄａｎｉｅｌ（ランペ・ダニエル）

＊団員／11名（男７名／女４名）

＊主な受け入れプログラム

７／25　対面式、ウェルカムパーティー

７／26　キッコーマン工場見学、菖蒲公園散策、商業施設見学

７／27　スポーツ交流、南栗橋盆踊り（花火）

７／28　家庭プログラム

７／29　テーマディスカッション、文化交流

７／30　東照宮付近・社寺参詣、中善寺湖見学

７／31　うどん打ち体験、折り鶴体験、さよならパーティー

８／１　次の受け入れ地へ移動（茨城県）

指導者・保護者・関係者の皆様へ

令和元年７月
埼玉県スポーツ少年団

# スポーツ少年団活動の今後の在り方について

1964年の東京オリンピックに先がけてその２年前の1962年、一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供しようと結成されたのが日本スポーツ少年団です。半世紀以上が経過して間もなく二度目の東京オリンピックがやってきます。この機会に、本来スポーツ少年団が目指しているものは何かを原点に立ちもどりながら確認し、これからのスポーツ少年団活動の在り方を考えていきたいと思います。

## スポーツ少年団の３つの理念

- 一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供する
- スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる
- スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する（平成21年６月 追加）

**スポーツ少年団は競技団体ではなく、子供たちの健全育成を目指す青少年団体です**

↓

**スポーツ少年団活動は**

主となるスポーツ活動のほか体力テスト（運動適性テスト）、レクリエーション活動、野外活動、学習活動、文化活動、社会活動などが**年間・月間**を通して**計画的**に位置づけられていなければなりません。

## 中学校の部活動が変わりました

「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」（平成30年７月 埼玉県教育委員会）より

| | |
|---|---|
| ①活動時間の設定 | ・平日の活動時間：長くとも**２時間**程度 |
| | ・休日の活動時間：長くとも**３時間**程度 |
| ②休養日の設定 | ・平日：少なくとも**１日** |
| | ・土日：少なくとも**１日以上**（週末に取れないときは振替える） |
| ③オフシーズンの設定 | 長期休業中（夏休み・冬休み）は、**一定程度長期の休養**を設ける。 |

↓

**それでは少年団の中心となる小学生にとって理想のスポーツ活動とは**

①１日あたりの活動時間は、平日・休日を問わず長くとも**２時間**程度。
②１週間あたりの活動日数は多くとも**３日まで**。土・日は多くともどちらか**１日のみ**。
③**ＷＢＧＴ３１℃**（乾球温度３５℃、湿球温度２７℃）以上は**活動中止**。
④単一種目のみを行うのではなく、遊びを取り入れた**多種多様な動き**のできる活動を行う。

**皆さんの団は大丈夫ですか？**

※ 勝利至上主義になっていませんか？　勝ち負けが団の話題の中心になっていませんか？
※ スポーツのやりすぎによって心身に障害をおこしている団員はいませんか？
※ 中学校の部活動より活動日数や活動時間が多くなっていませんか？
※ 猛暑の中で活動していませんか？　熱中症になった団員はいませんか？
※ 主となるスポーツ活動のみで年間の活動が構成されていませんか？
※ 指導者・保護者の過大な負担や犠牲のうえに団運営が成り立っていませんか？
※ 県・市町村本部が行う交流事業や育成事業に積極的に参加していますか？

## 将来に向けた若い指導者の育成

スポーツ少年団は**生涯スポーツの入口**として、本来は成人になっても団員として登録ができる団体です。その意味からも『卒団』という造語（いつだれが造ったか不明）は、使わないようにしたいものです。その団で育った団員が将来指導者として活躍するという意味からも**リーダー育成**は重要な視点です。

# 種目別交流大会結果

## 第41回全国スポーツ少年団交流大会埼玉県予選兼第38回埼玉県スポーツ少年団夏季小学生軟式野球交流大会

６月２日(日)・９日(日)に予選が行われ、16日(日)草加市「そうか公園多目的運動広場」において準決勝・決勝戦が行われました。

優　勝　　大宮パワーズ(さいたま市)
準優勝　　川口ドラゴンズ(川口市)
３　位　　さいたまフェニックス(さいたま市)
　　泉ホワイトイーグルス(所沢市)

※優勝した大宮パワーズは７月27日から群馬県で開催される関東ブロック競技別交流大会に出場。

## 県民総合スポーツ大会 平成31年度埼玉県スポーツ少年団第38回ミニバスケットボール交流大会

７月６日(土)・７日(日)の２日間、川越運動公園総合体育館において男女とも各12チームにより予選(リーグ戦)、決勝(トーナメント戦)が行われました。

〔男子１位グループ〕
優　勝　　朝霞台ユニオンズ(朝霞市)
準優勝　　越谷ウィンズ(越谷市)
３　位　　リベルタ(入間市)

〔女子１位グループ〕
優　勝　　行田ラビッツ(行田市)
準優勝　　さしまミニバス(川口市)
３　位　　与野西北(さいたま市)

# 令和元年度スポーツリーダー養成講習会 兼スポーツ少年団認定員養成講習会開催一覧

※受講希望等のお問合せにつきましては、ご自分の所属市町村スポーツ少年団事務局を通して、開催市町村本部へお問合せください。

| コースNo. | コース名 | 開催日 | 会場(予定) | 定員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 埼玉県スポーツ少年団 | 10月26日(土)・27日(日) | スポーツ総合センター | 150 |
| 2 | さいたま市スポーツ少年団 | ９月７日(土)・８日(日) | ときわ会館 | 150 |
| 3 | さいたま市スポーツ少年団 | 11月16日(土)・17日(日) | ときわ会館 | 150 |
| 4 | 川口市スポーツ少年団 | ８月24日(土)・25日(日) | 川口緑化センター　樹里安 | 130 |
| 5 | 草加市スポーツ少年団 | ６月９日(日)・16日(日) | 草加市スポーツ健康都市記念体育館 | 80 |
| 6 | 戸田市スポーツ少年団 | 11月30日(土)・12月１日(日) | 戸田市スポーツセンター | 40 |
| 7 | 鴻巣市スポーツ少年団 | １月18日(土)・19日(日) | 川里農業研修センター | 90 |
| 8 | 上尾市スポーツ少年団 | ９月７日(土)・８日(日) | 上尾市青少年センター | 80 |
| 9 | 北本市スポーツ少年団 | ６月16日(日)・23日(日) | 北本市体育センター | 50 |
| 10 | 川越市スポーツ少年団 | ６月22日(土)・23日(日) | 川越運動公園陸上競技場 | 50 |
| 11 | 所沢市スポーツ少年団 | 12月14日(土)・15日(日) | 所沢市民体育館 | 80 |
| 12 | 飯能市スポーツ少年団 | 12月21日(土)・22日(日) | 飯能市役所別館 | 30 |
| 13 | 入間市スポーツ少年団 | 11月９日(土)・10日(日) | 入間市市民体育館 | 30 |
| 14 | 鶴ヶ島市スポーツ少年団 | ８月31日(土)・９月１日(日) | 鶴ヶ島市女性センター | 30 |
| 15 | 東松山市スポーツ少年団 | １月25日(土)・26日(日) | 松山市民活動センター | 100 |
| 16 | 皆野町スポーツ少年団 | ６月22日(土)・23日(日) | 皆野町文化会館 | 60 |
| 17 | 本庄市スポーツ少年団 | 12月７日(土)・８日(日) | 本庄市役所 | 50 |
| 18 | 熊谷市スポーツ少年団 | 10月26日(土)・27日(日) | 調整中 | 80 |
| 19 | 深谷市スポーツ少年団 | ９月７日(土)・８日(日) | 深谷市生涯学習センター | 60 |
| 20 | 加須市スポーツ少年団 | ７月６日(土)・７日(日) | 加須市民体育館 | 50 |
| 21 | 羽生市スポーツ少年団 | ８月31日(土)・９月１日(日) | 羽生市体育館 | 30 |
| 22 | 春日部市スポーツ少年団 | 11月24日(日)・12月１日(日) | 春日部市総合体育館 | 100 |
| 23 | 越谷市スポーツ少年団 | ６月15日(土)・16日(日) | 増林地区センター | 50 |
| 24 | 久喜市スポーツ少年団 | ２月２日(日)・９日(日) | ふれあいセンター久喜 | 100 |
| 25 | 三郷市スポーツ少年団 | ６月16日(日)・23日(日) | 三郷市保健センター分室 | 60 |
| 26 | 蓮田市スポーツ少年団 | １月18日(土)・19日(日) | 蓮田市総合文化会館 | 50 |
| 27 | 白岡市スポーツ少年団 | ２月１日(土)・２日(日) | はぴすしらおか | 60 |
| 28 | 新座市スポーツ少年団 | 10月26日(土)・27日(日) | 新座市総合体育館 | 50 |

# 第２回ジュニアスポーツフォーラム

6月16日（日）、公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団等の主催により第２回ジュニアスポーツフォーラムが東京で開催されました。このフォーラムは指導者、リーダーおよび法律実務家、研究者を一堂に会し、ジュニアスポーツに関わる指導者およびスポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、スポーツ活動に欠かすことのできない安心・安全な環境の整備に資するために開かれているものです。

特別講演は、日本スポーツ少年団副本部長であり、バスケットボール「U-16・U-18・U-19」女子日本代表ヘッドコーチを務める萩原美樹子氏が「ジュニアスポーツからみたスポーツ少年団」と題して講演を行いました。「スポーツ少年団の理念と役割」の話から始まり、「コーチとは選手の上達を支援する！」「コーチングとは『主役』は選手であり、コーチは『わき役』である」と説明され、「最終目的は一緒で役割が違うだけ、子供の成長を支える大人の責任と自覚が大事！」との話がありました。

「スポーツチーム・クラブ運営におけるガバナンスの構築」のテーマで行われたD分科会では、暴力行為の改善対策としては、反則行為として統一した規則を作り、厳しく運用していく必要があるとの報告がありました。半面、競技団体の中には今後の改善策には心配が残るという意見があるとの報告もなされました。

また、この大会の中で、弁護士の方を対象に「ジュニアスポーツ法律アドバイザー研究会」が開催され、現場の実情や今後への指針などが話し合われました。

▲　日本スポーツ少年団坂本本部長あいさつ

# 安全なスポーツ少年団活動を！

子供たちにとって楽しい夏休みが始まっています。指導者の方々は、日ごろから子供たちのレベルアップを図るべく指導されていることと思いますが、暑い夏の活動においては最善の配慮で子供たちの安全な指導を行うよう心がけてください。

**① 熱中症の予防**

・熱中症について十分な知識と認識を持つこと！
・屋内活動においても熱中症の危険があるため、風通しのよい活動場所の確保を！
・万が一熱中症が疑われるときは、子供たちを守るための素早い対応を！（子供たちに限らず、安全な指導のため指導者自身も体調に気を遣うことが大切）
・環境条件に応じた運動・休息・水分補給の徹底を！
・こまめな水分補給を忘れずに！

**② コンディションチェック**

子供たちには個人差があるため、一定の条件下であっても個々の体調変化は異なります。また、「休むと試合に出してもらえないから」「コーチに怒られるから無理をしてしまう」などの理由で体の変調を正直に伝えない（伝えられない）子供もいます。したがって、子供たちの様子をこまかく観察して、適切な対応を図ることが重要です。

**③ 野外活動の注意**

・天候の急変に伴う素早い対応（プログラム変更等）
・活動場所の危険個所のチェック!

日ごろの活動場所以外での活動を行う場合は、現地の状況のほか気象や天候などの情報をあらかじめ十分に把握し、想定される事態に応じた対応策を事前に準備しておくことが必要です。

公益財団法人埼玉県スポーツ協会　キャッチフレーズ

**まず参加　たのしくスポーツ　みんなが主役**

# 『子どもたちのための母集団活動』
## ～愛（合い）・こ・と・ば～

一　わたくしたちは　スポーツをとおして　心身ともに健やかな団員育成のため　活動します。
一　わたくしたちは　全ての団員を思いやり　支え励ましながら　活動します。
一　わたくしたちは　団員とともに　フェアプレイを尊重し　活動します。
一　わたくしたちは　自らもスポーツに親しみ　明るく楽しく　活動します。
一　わたくしたちは　指導者と連携し　地域に認められるスポーツ少年団となるよう　活動します。

## 情報紙 スポーツ ともだち 仲間たち
### ～ 情報をお寄せください ～

埼玉県スポーツ少年団の情報紙「スポーツ　ともだち仲間たち」は企画広報委員会が編集を担当し、年３回（７月、12月、３月）発行しています。現在の配布先は、市町村本部へ５部、各単位団に対しては代表指導者をとおして３部が行き渡るようにしています。つきましては、代表指導者の皆さんには、所属の指導者並びに母集団役員などの方々にも読んでいただけるように、回覧方法等について工夫していただきますようご協力ください。

なお、情報紙は紙ベースのためどうしてもニュース性に欠ける面があるのは否めません。したがいまして、掲載項目の中に先進事例や指導者の皆さんと共に考えていけるような要素の記事を可能な限り含められるよう取り組んでいきたいと考えています。そうしたことから、皆さんの団や本部、さらには地域の中で特徴的な行事や取り組み事業などがありましたらぜひお寄せください。

## 編集後記

年号が平成から令和に変わりましたが、今年も暑い夏がやってきます。各単位団におかれましては、夏合宿、夏季大会などで忙しい時間を過ごされると思います。熱中症対策はいろいろと講じられておられていると思いますが、ＷＢＧＴ（暑さ指数）が高いときは活動を中止する勇気を持っていただきたいと思います。

埼玉県スポーツ少年団　企画広報委員会
TEL：048-779-5895　FAX：048-774-5550
E-mail：saitamaken@japan-sports.or.jp

www.toto-dream.com　www.toto-growing.com　19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター